

平成 2 5 年度

関東農政局補助事業評価（事後評価）

現地調査資料

岡登地区

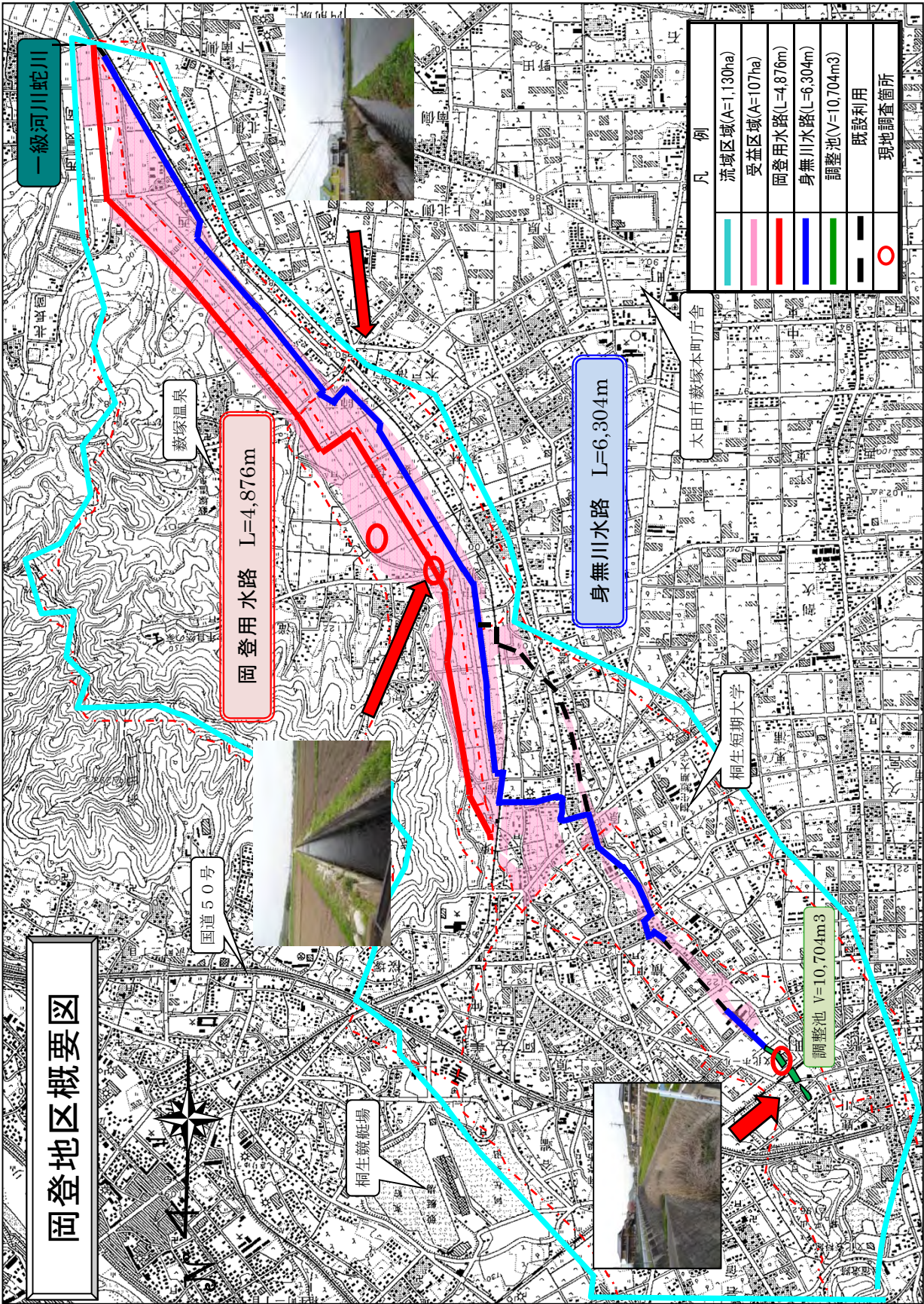
# 農地防災事業（湛水防除事業）

# おかのぼり 「岡登地区」 地区概要

1. 事業名：農地防災事業（湛水防除事業）
2. 事業目的：本地域は、上流よりみどり市、太田市にまたがる流域を有しており、水稲を中心に施設野菜（トマト、なす等）を組み合わせた営農が展開されている。  
しかしながら、昭和 50 年代中頃から急激な農用地の宅地化等の社会情勢の変化により、洪水の到達時間の短縮や流出量が増加し、既存水路の排水能力不足による溢水や湛水による農業被害が増加していた。  
このため、地域の排水路として利用されている岡登水路と身無川水路<sup>しんなしかわ</sup>の拡幅改修及び調整池の新設を行い、農地への溢水・湛水被害の解消を図り、農業経営の安定化、都市近郊農業の発展及び地域の生活環境の保全に資する。
3. 総事業費：2,175 百万円（事業完了時点）
4. 受益面積：107ha
5. 受益者数：386 人
6. 事業工期：平成元年度～平成 19 年度（計画変更：平成 7 年度）
7. 関係市町：みどり市（旧笠懸町）、太田市（旧太田市、旧藪塚本町）、
8. 事業内容：用排水路改修 11.2km、洪水調整池新設 1 箇所
9. 主要作物：水稲、トマト、なす、きゅうり、えだまめ
10. 負担割合：

国	県	市町村	農家
50.0%	27.5%	22.5%	-

11. 事業成果：事業実施前は昭和 57 年 9 月 10～12 日発生の台風 18 号（降雨量 238 mm /3 日間）などにおいて、農作物、農地、農業用施設のみならず道路、鉄道、家屋等の一般・公共資産にも多大な被害が生じていた。  
事業実施後は排水路の拡幅改修、洪水調整池新設により平成 23 年 7 月 19～21 日発生の台風 16 号（降雨量 182 mm/3 日間）などの豪雨に対して、受益地内の被害は生じておらず、安定した農業経営が可能となった。  
さらに、周辺の家屋・道路・鉄道等の水害も防止されており、地域の生活環境の改善が図られている。



岡登地区概要図

一級河川蛇川

岡登水路 L=4,876m

身無川水路 L=6,304m

調整池 V=10,704m³

凡例	
	流域区域(A=1,130ha)
	受益区域(A=107ha)
	岡登水路(L=4,876m)
	身無川水路(L=6,304m)
	調整池(V=10,704m³)
	既設利用
	現地調査箇所



国道50号

桐生競艇場

桐生短期大学

太田市薮塚本町庁舎





# 岡登地区 航空写真





# 農地防災事業（湛水防除事業）「岡登地区」の効果

## (1) 農業生産の維持

施設の（用排水路・調整池）の整備によって被害を受けることがなくなったことから、農業生産が維持されている。

○被害状況(農地・農業用施設)



○現在の営農状況(水稲・トマト・キュウリ)

(H10.9.16降雨量182mm/3日間)

## (2) 一般・公共資産等への被害の防止・軽減

本事業の実施により、家屋、道路、鉄道等の一般・公共資産への浸水被害が防止され、地域住民の生活安全性が向上している。

○被害状況(一般・公共資産)



○湛水被害の解消状況



(未整備区間:H14.7.10 台風6号 降雨量265mm/3日間)

(整備済区間H14.7.10 台風6号 降雨量265mm/3日間)